



菅生学園報

第18号 2025年5月号



理事長メッセージ



理事長
島田 幸成

菅生学園のクラブ活動推進について ～公立学校クラブ活動の地域移行を踏まえつつ～

理事長 島田幸成

新年度が始まりました。初等部23名、中等部98名、高等部388名の新入生を迎えました。入学を心よりお祝いすると同時に今後の活躍を大いに期待しています。

さて、先日、3月20日春分の日には菅生学園主催の男子中学生対象の第33回目となる聖隆杯バレーボール大会が高等部体育館で開催されました。回を重ねて33回目の開催となりますが、関係者の皆様に心より感謝いたします。例年開会式で挨拶をさせてもらっていますが、最近の傾向として、地域中学校所属のバレーボール部に交じって地域のクラブチームが出場していて、レベルも高くなっています。関係者によると、地域によっては学校のクラブ活動を縮小して、地域クラブに移行する動きがあり、聖隆杯の参加団体もこうした動きの表れとのことでした。

文科省は公立学校クラブ活動の地域移行推進の主な理由として、教員の働き方改革やクラブ活動の持続的運営など理由をあげています。一方で、受け皿となる団体の整備、指導者の確保、費用負担、施設整備、活動場所への移動など、様々な課題があります。果たして公立学校のクラブ活動地域移行がスムーズに進むのか関係者からは疑問の声も聞こえます。

ところで、菅生学園で今年は特に中等部の人気が高まり、入学者が増えました。学校で、どうして菅生を選んだかアンケートを実施したところ、学習面の取り組みが第一の理由ですが、一方で、クラブ活動の充実も学校を選んだ理由の大きなポイントだったと伺っています。菅生学園では初等中等高等において学習面の充実はもちろん、文化スポーツなどのアフタースクール、クラブ活動も充実していて、素晴らしい実績をあげています。これは学園創立時より、学力偏重の教育ではなく、児童生徒の知徳体、それぞれをバランスよく伸ばすという全人的な教育を基本方針にしているからです。

学校におけるクラブ活動は課題もありますが、児童生徒の個性や才能を伸ばす重要な活動として、意義は大きいと思います。こうしたことから、菅生学園では、地域の状況も踏まえつつ、今後もクラブ活動を推進していきたいと考えます。新年度が始まったところですが、今年度も、児童生徒には勉強はもちろん、スポーツ、文化における成果も多いに期待しているところです。

退任にあたって



峰岸 英仁先生

41年間、お世話になりました。1983年に社会科教員採用の筆記試験を受けましたが、後日の面接では商業科の免許もあることから、情報の科目を教えて欲しいと頼まれました。当時、PCを想定した教科書も教材もなく、授業スタイルも独自に考察しました。そして、全くの独学で情報関係の国家資格も2つ取得しました。

役職としては、進路指導主任5年、学年主任3年、システム（情報管理室）委員長10年、教務主任12年、教頭1年、副校長・広報室長7年、そして校長は8年務めました。校長職時以外はずっと兼務でしたので、校長としてはプレイングマネージャーの意識で取り組んでいました。前例がなく1から作り上げる業務が多く、試行錯誤の連続でしたが、成し遂げた喜びが活力となっていました。職務を全うできたのは、教職員の皆様のあたたかいご理解とご協力のおかげと感謝しています。

東海大学一貫教育委員、現代文明論センター研究員・学園オリンピック知財委員も20年近く務めました。その分、業務も増えてきましたが、知見を広げられただけでなく、東海大学と本校の関係を深めるような貢献ができたと思っています。

私学の存在意義は建学の精神です。「調和の取れた考え方ができる賢さを身に付け、より良い文明社会を作ろう」を常に意識していきましょう。そして私が、生徒に心構えとして、他者に優しい・矜持を持つとの意味で「エリートたれ!」と言い続けていたことを記憶に留めておいて頂ければ幸甚です。

卒業式特集

菅生学園初等学校

卒業生： 13期生 25名



東海大学菅生高等学校中等部

卒業生： 28期生 80名



東海大学菅生高等学校

卒業生： 40期生 386名



ご卒業おめでとうございます。
皆さんのさらなる飛躍を心からお祈りします。

入学式特集

菅生学園初等学校

入学生：23名



東海大学菅生高等学校中等部

入学生：98名



東海大学菅生高等学校

入学生43期生：388名



新入生の皆さんの菅生学園での日々が充実したものとなるようお祈りします。
教職員は全力でサポートしていきます。

学園トピック

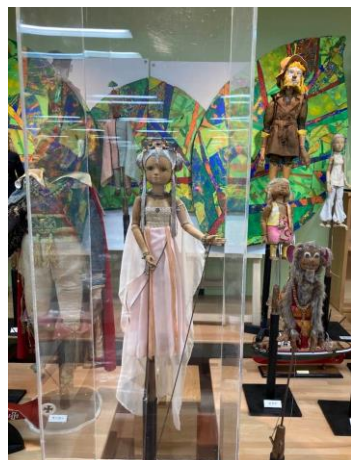
(1) 『友永詔三 人形と仲間たち』展

3月10日から26日にかけて、学びの城2階において「学びの城の美術展特別企画 『友永詔三 人形と仲間たち』」展が開催され、学園内だけでなく多くの一般の方も鑑賞されました。

3月22日には友永詔三さんと中部美術科の藤田俊哉先生によるギャラリートークを開催。学園の児童・生徒やその保護者の皆さん、リアルタイムでNHK人形劇『プリンプリン物語』の放送を楽しんだ方や若い世代のファンの方など100人近い方が参加されました。

ギャラリートークの中では、高知県四万十町出身の友永さんがダリの展覧会を見たことがきっかけでアートの世界に進もうと考えたこと、オーストラリアに渡って人形制作を学んだこと、オーディションによって『プリンプリン物語』の人形制作を担うことになったことなどが語られました。『プリンプリン物語』の人形は、関節部分に球体を入れ、人間とほぼ同じ動きをとることができるようにした“球体関節”という手法で作られた木彫りのもので、500体の人形を制作されたそうです。人形のまつ毛にはホロホロ鳥の羽を使用、人形の素材はアメリカヒバが用いられ、衣裳の中にはインドの布が使用されたものもあったと、クオリティの高さの秘密も語られました。

ギャラリートーク後、友永さんは来場者と気さくに話をされ、「これを機に絵を描きたい、造形をしたいと思う人が出てくれればうれしい」と語っていました。



『プリンプリン物語』は、現在、シリーズ中でも人気の高い『アクタ共和国編』が以下のとおり、再放送されています。

Eテレ 毎週月曜 午後10:50～11:20

再放送

Eテレ 毎週火曜 午後1:10～1:40

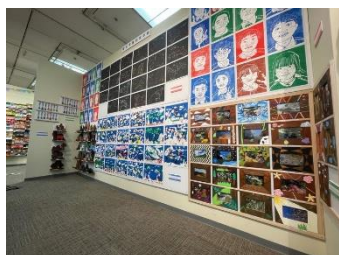
右の写真は5月17日、18日に自然人村で行われた人形ファンタジー“夢”に登場した新作の人形



(2) 東京私立小学校児童作品展「ほら できたよ」

1月24日から28日までの5日間、松屋銀座店8階イベントスクエアにて毎年恒例の東京私立小学校児童作品展「ほら、できたよ」展が開催されました。都内私立小学校21校の素晴らしい図工作品が展示されました。

菅生学園初等学校からも各学年児童の見事な作品が展示されました。



学園トピック

(3) ソフトボール日本代表U-15に菅生高等学校中等部 ソフトボールクラブから3名選出

ソフトボール日本代表U-15に菅生高等学校中等部ソフトボールクラブから3名選出されました。

昨年12月2～4日に静岡県得天城ドームで行われた選考会には、参加条件をクリアした90名を超える選手が全国から集まり、16名が日本代表の座をつかみ、内3名が本校から選ばれました。

3月26～30日に台湾南投県行われた第2回アジアカップでは、日本代表は予選を4勝0敗で勝ち上がり、決勝では予選2位の台湾を7-0の完封で抑えアジアチャンピオンとなりました。

この大会で本校から出場した捕手の川合瑠香選手が(3年) MVPに輝き、投手の北村葉琉選手(3年)が最多勝利投手賞を受賞しました。また、山本優依選手(3年)も3塁手として5試合中4試合出場し、堅い守りを見せました。

3人は6月27～7月5日にイタリアで行われる第2回U-15ワールドカップへの出場が決まっています。

ワールドカップへの意気込み

北村 葉琉：1試合でも多く投げられるよう万全の準備をして臨みたい。

川合 瑠香：ワールドチャンピオンをつかむため、努力します。

山本 優依：謙虚な気持ちを忘れず、チームのために自分のことをしたい。



※WBSC U15女子ワールドカップ

6月27日から7月5日までイタリアのレニャーノとカロンノ・ペルトゥセラで開催予定。

アジアからは日本と中華台北の2チームが出場します。大会は第2回となり、第1回は2023年に東京で開催されました。その際、日本は第3位でした。



1月19日には北京の中学生選抜ソフトボールチームが来校し、菅生高校中等部ソフトボール部と試合や合同練習を行いました。

< 9年間皆勤おめでとう >

9ヵ年皆勤賞を受賞して 「菅生学園で過ごした9年間とこれから迎える高校生活への思い」

東海大学菅生高等学校 1年3組 百瀬 蒼太郎

< 初等学校の思い出 >

母の仕事の都合で、一日の半分近くの時間を学びの城校舎で過ごしました。その中でも放課後児童預かりの時間に先生と過ごした時間がとても印象に残っています。宿題はもちろんですが、それ以外にも昔の遊びや理科実験など、遊びから学んだことも多くありました。特に理科実験は僕が理科好きになったきっかけでもあり、今でもその先生との交流が続いています。一番の思い出は、何と言っても12人の仲間と共に過ごした6年間の学校生活です。人数の少ない学年だったからこそ深い絆で結ばれていました。運動会、遠足、修学旅行など楽しい思い出ばかりでしたが、12人と過ごした何気ない日常が僕にとっては一番の宝物です。

< 中等部の思い出 >

一番印象深いのは3年生の音楽祭と修学旅行です。音楽祭では、賞はもらえませんでしたでしたが、担任の沼野先生の熱血指導でクラスが一致団結し、最高の歌声を響かせることが出来ました。修学旅行では、北海道の広大な自然に触れ、仲の良い友人と高級なホテルで過ごした時間は格別でした。クラブ活動には所属していなかったのですが、小学校6年生から始めた外部のクラブチーム(バレーボール)の活動が活発になり、勉強との両立が心配になった時期がありました。放課後遅くまで残ってメディアセンターで宿題や試験勉強をしたこと、定期試験前に母が夜遅くまで勉強に付き合ってくれたことは、今でも良き思い出です。

< 高校生活を迎えるにあたって >

一番の目標は「12年皆勤」を達成することです。毎朝、学校まで送ってくれた母に感謝し、今まで以上に健康に気をつけて有意義な高校生活を送りたいです。勉強面では、漢検や英検などの検定試験に積極的にチャレンジすること、また苦手意識を持つ英語と向き合って克服することが課題です。行事では、中等部の生徒として訪れた高校の菅生祭がとても魅力的に感じました。今度は高校生として、来て下さった方々に楽しんでもらえるような企画を考えたいです。将来は、両親と同じような子どもたちと関わる仕事に就きたいと考えています。そのためには、早い段階から大学進学を意識して勉強に励み、夢を叶えたいです。



百瀬 蒼太郎君、ありがとうございました。これからも頑張ってください！

菅生学園初等学校

校長メッセージ



布村 浩二校長

= 「問う力や問いを立てる力」を育てる =

先日、経済界の上位におられる方々が集まる会議に参加させていただきました。そこでは、今の日本の教育に憂いを感じ、教育の行く末を案ずるが故に真摯に真剣に社会全体で子育てを行っていく「共同養育」について語られていました。ほっとしました。

政治の世界においてももっとしっかり教育の将来について考えていただきたいし、ある種それは当然のことですが、経済界においても教育の未来を案じておられることに救われました。

われわれ教育に携わる者は少子化に関わる課題に注目していますが、世の中では人口減少について「人口戦略会議」が行われ、2040年には1,100万人の労働供給不足が起り、生産年齢人口が6,213万人になり現在の2割近い減少になると予想されています。それに備えて、定常化戦略と強靱化戦略についても議論され、今の不十分な危機意識の共有に警鐘を鳴らしています。

現場では個別最適化、効率化を目指す状況下でAIを用いることの必然性が明確になり、また生徒自身もAIを使いこなすスキルを身に着けることが必須となっています。実際に同じ課題を同じAIを用いて解いても使う人間によって結果の質が大きく異なります。つまり、「解く力」より「問う力や問いを立てる力」が求められることになります。

そんな中、教育現場ではどのような力を養うべきかについて、真摯に即効性をもって向き合えないといけなくなっています。この瞬間も更新されていく情報とその影響を受ける価値観に我々は敏感にならなければなりません。

トピック

新江の島水族館へお別れ遠足

毎年恒例の全校によるお別れ遠足が実施されました。行先は神奈川県藤沢市の新江の島水族館。全校児童154人を10班の縦割り班に分け、見学を楽しみました。3/5の当日はやや肌寒い風が吹いていたものの、子どもたちは海が見えらうと大興奮です。イルカショーではわざわざ前の席に陣取り、ビショ濡れになって歓声を上げていました。中には、ちゃっかりカップを持ち込んでいたツワモノもいました。クラゲで癒されている児童がいれば、カメをじっくり観察する児童もいて、それぞれに水族館を満喫していました。

6年生との楽しい思い出ができました



1～4月活動報告

1 / 7	始業式	1 / 25	漢字検定	3 / 17	修了式
1 / 8	身体測定・書初め大会	2 / 8	入学児保護者会	4 / 5	始業式
1 / 11	もちつき大会	2 / 20	劇と音楽の会 (羽村ゆとろぎホール)	4 / 6	入学式
1 / 17	英語検定	3 / 5	お別れ遠足 (新江ノ島水族館)	4 / 12	1年生しいたけ植菌
1 / 18	オープンスクール (給食試食会)	3 / 7～	個人面談	4 / 14	写生会
1 / 24～28	東京私立小学校児童作品展 「ほら、できたよ」展	3 / 16	卒業式	4 / 23	1年生を迎える会
				4 / 26	東京私立小学校展

5～8月活動予定

5 / 2	全校遠足(多摩動物公園)※6/6に延期	6 / 28	スッガニア・サマー
5 / 10	父母の会総会、スッガニア・スプリング	7 / 18	終業式
5 / 24	運動会	7 / 19	スクールトライアル
6 / 10	オープンスクール	7 / 23～25	2・3・4年生グリーンスクール(山中)
6 / 21	授業参観	8 / 15～17	ブリティッシュヒルズ英語研修(福島)
6 / 24～27	6年生修学旅行(京都・奈良)	8 / 22～28	サマースクール

東海大学菅生高等学校中部

トピック

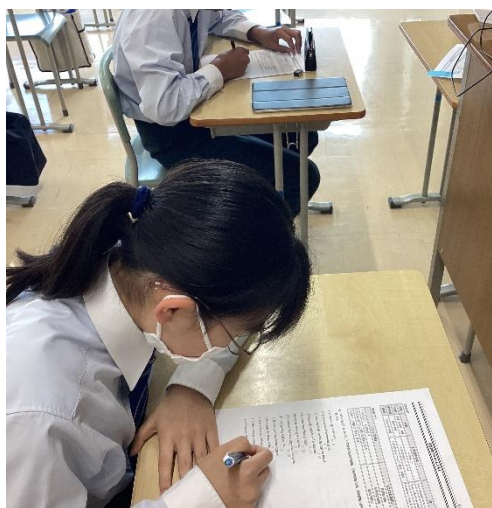
アフタースクールの学習サポート

2025年度入学の保護者の皆様に行ったアンケートで、入学を決めた理由に関しては、「学習面の様々な取り組み」73.3%、「クラブ活動の充実」54.7%が上位を占めていました。また、「入学後どのようなことを期待していますか」という質問に対して「クラブ活動と勉強の両立」69.8%、「学習面のフォロー」60.5%となりました。以上の結果から、保護者の皆様からは「文武両道」の実践を期待していることと、更にChatGPTやSTREAMM教育、S-OL（スガオオンラインラーニング）などの取り組みに魅力を感じていると思います。

本年度のアフタースクールは、放課後の時間帯を次の①～③の時間帯に区切り、英語・数学の授業と演習を行っています。① 15:40～16:30 ② 16:35～17:25 ③ 20:30～21:20 ①②は本校英語科と数学科の教員が授業や演習を行い、生徒の質問にも対応しています。③は自宅でUEP（有名進学塾のベテラン講師が立ち上げた教育ベンチャー企業）によるオンライン授業を行っています。

現在中学1年生46名、中学2年生19名、中学3年生22名が受講しており、学習への関心の高さがうかがえます。これらの学習活動を通して、生徒一人ひとりに合った授業を展開し、基礎学力の定着と応用力の向上を期待しています。

新学年になって気持ちもあらたに学習に取り組んでいます



1～4月活動報告

1/11	第5回学校説明会	3/12	地域清掃（3年生）
2/1	第1回入試（午前・午後）	3/15	卒業式
2/2	第2回入試（午前・午後）	3/17	修了式
2/4	第3回入試（午前）	3/26	新入生招集日
2/6	第4回入試（午前）	4/5	始業式
2/8	第5回入試（午前）	4/7	入学式
2/11	入学準備説明会	4/19	保護者会（2・3年生）
3/8	理科実験教室	4/22	校外学習 （1年生・静岡三保東海大学社会教育センター） （2年生・横浜/鎌倉）
3/11	卒業遠足 （3年生・東京ディズニーランド）	4/23	校外学習（3年生・国立科学博物館）

5～8月活動予定

5/16	自然観察教室（1年生）	7/13	オープンスクール
5/28	第1回塾対象説明会	7/17～19	指名補習
6/11	写生会（2年生）	8/23	第2回理科実験教室
6/18	授業公開	8/27	登校日
6/21	第1回理科実験教室		

東海大学菅生高等学校

校長メッセージ



大山 敏 校長

= 課題解決に向けて邁進 =

4月から峰岸前校長の後を受けて校長に就任いたしました大山敏と申します。昨年度は本校舎の高等学校副校長と学びの城の一貫部副部長を兼任し、峰岸前校長と布村一貫部長に仕えつつ高等学校の部活動に係るヒアリング・調整業務、特進コース・特進PBLコースのHR担任支援、高校段階に入った医学・難関大コースや中等部、高等学校の間の調整業務に携わり、菅生学園各学校種の様子をつぶさにみることができました。

今年度は東海大学菅生高等学校長として、東海大学への付属推薦合格者数増のための学力向上、「東海大菅生型文武両道」を着実に進めるための非認知能力の向上と教員評価の推進、来年度から高校段階を迎える一貫進学コースと医学・難関大コースの教育課程の進行管理と高等学校・中等部間の人事交流と、山積する課題解決に向け、東京都30年間の知見と経験を生かして学校経営に邁進する心算です。皆様のご高配とご支援を何卒よろしくお願いいたします。

トピック

【2年特進PBLコース

バリ島修学旅行事前学習始まる】

修学旅行に向けた準備が本格化し、very50のプロジェクトに参加してバリ島を訪れることになりました。初回授業ではバリ島やスタッフに関するクイズ大会を行い、盛り上がりを見せました。さらに「地域課題を踏まえた商品開発と企業計画」というPBL型のプロジェクトにも取り組む予定で、期待が高まっています。

先日の授業では、班ごとに「泊まりたくなるお菓子の家」をテーマに制作。役割分担をして工夫を凝らし、完成品を発表しました。優秀な班にはスタバのチケットが贈られ、創意工夫を凝らした家が高く評価されました。お菓子の家作りを通して、自ら考え行動する力が養われ、バリ島でのプロジェクトに向けて意識がさらに高まっています。PBLならではの貴重な体験となりました（QRコードから特進PBLのインスタグラムで授業の様子を見ることができます）



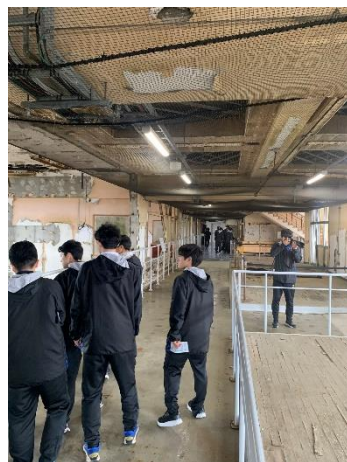
【横田ハイスクール生徒が本校を訪問】

3月14日、横田ハイスクールのみなさんが本校を訪れてくださいました。グループに分かれて、ドッジボールや茶道、お餅を使ったお菓子作りなど、楽しいアクティビティを一緒に行いました。最初は緊張していた本校の生徒たちも、英語を駆使して、充実した交流の時間を過ごしました。



【ハンドボール部、福島・双葉町を訪問】

ハンドボール部は合宿最終日、東日本大震災と原発事故の爪痕が残る福島県双葉町を訪れました。朝、海辺を歩きながら防波堤に上り、穏やかな海を静かに見つめた後、復興を願う壁画アートを巡りました。続いて訪れた伝承館では、語り部の宗像涼さんから避難生活の苦しみや、故郷を思う切ない気持ちを伺いました。さらに浪江町立清戸小学校では、津波の被害を受けながらも、児童たちが必死に避難し全員無事だった奇跡の物語に触れました。現地に立ち、被災の跡に直接向き合ったことで、写真では伝わらない現実と重みを心に刻みました。部員たちは「人とのつながりの大切さを忘れず、震災の記憶を伝えていきたい」と語り、思いを新たにしました。



東海大学菅生高等学校

トピック

【吹奏楽部第13回 首都圏学校交歓演奏会 金賞 3位】

3/28、さいたま市文化センターで行われました。本校の演奏時には、会場がいっぱいになっていました。多くの方が注目してくださっていることがわかりました。演奏曲は、「ポップス描写局『メインストリートで』」と「キリストの復活〜ゲツセマネの祈り」で、メンバー一人ひとりの音色の美しさが調和し、繊細でありながら雄大な演奏で、会場の皆さんを魅了していました。

<マスコミ取材> 4/21(月)に、6/1(日)の甲子園ブラスパンドフェスティバル2025出演に向けての取材が入りました。朝日放送テレビ「まるスポ」放映予定です。



【卓球部 全国選抜 5位】

岡山県岡山市で開催された全国高校選抜卓球大会の女子シングルス部に2年の川野咲姫さんが東京都代表として出場しました。予選リーグを全勝、決勝トーナメントも1回戦を勝利して準々決勝に臨みました。惜しくも敗れましたが、結果ベスト8(5位)入賞となりました。川野さんは大会前に故障を抱えてしまい試合ができるかどうか不安な状況でしたが、強い意志をもって大会に臨んでベストを尽くしました。



【自然科学部 理科学研究発表会】

2/23に明星高校で行われた理科学研究発表会にて、1年生の研究チームが口頭発表をしてきました。1年生は初めての口頭発表で、大きな舞台にびっくりしていましたが、無事に発表を終えることができました。



1～4月活動報告

1/6	新年式	2/15	第3回一般入試	3/29	第3回新入生
1/22	推薦入試	2/26～3/1	学年末試験	4/5	始業式
1/31	第2回授業公開	3/7	卒業式	4/7	入学式
2/6	学園基礎学力定着試験対策模試	3/9	第1回新入生登校日	4/10	学園基礎学力定着度試験
2/10	第1回一般入試	3/17	修了式	4/12	授業開始
2/11	第2回一般入試				

5～8月活動予定

5/7～10	1学年校外学習 (婦恋研修センター)	7/1～4	定期試験B
5/20～23	定期試験A	7/1～7	特進PBL修学旅行(2学年・インドネシア・バリ島)
6/4	生徒総会	7/18	全校集会
6/5	進路の日	7/20	第1回学校説明会
6/12	芸術鑑賞教室	7/22～25	夏期講習(前半)
6/14	GTEC受験(3年)	7/22～8/6	オーストラリア夏期英語研修(Barker College)
6/20	第1回授業公開		

菅生 STEAMチャレンジ (12)

STEAM教育 ⇒S(Science 科学)、T(Technology 技術)、E(Engineering 工学)、A(Art 芸術)、M(Mathematics 数学)

このコラムでは、菅生学園の各校が取り組む様々な特徴あるSTEAM教育をご紹介します。

今回は菅生学園初等学校の「ゆたかの時間」を紹介いたします。

＝
菅生学園初等学校では、2014年から全学年で毎週2時間「ゆたかの時間」を設け、近隣の自然環境を活かして、さまざまな体験学習を行っています。

現在は、東海大学教養学部藤吉正明先生をお招きして鯉川や里山の生き物観察、蓼藍(タデアイ)の生育から始まる藍染、草木染についての指導を受け、観察・分類・報告書作りに取り組んでいます。これらは学術的な探求学習となり、見方・調べ方・まとめ方など、将来の学問につながる学習となっています。毎回、児童は目を輝かせて藤吉先生を質問攻めにしており、将来の目標を環境問題にしたという児童もいます。

学びの城には「ゆたかの時間」で野菜づくりや稲作を行う菅生FARMがあります。ここは当初「SUGAO POTAGER」という名称でしたが、その後ゆたか委員会が決めた「菅生FARM」という名称になりました。2017年にはコンクリートの水田ができて今のような姿となりました。FARMでは近隣の皆さんのご協力もいただきながら江戸野菜や大豆も栽培され、収穫された大豆では味噌づくりも行っています。水田で収穫されたもち米で餅つきも行われています。

こうした一連の取り組みを通して、教科横断的に学ぶ「ゆたかの時間」です。

1年生

- 里山・鯉川探検(春・夏・秋・冬)
- しいたけ植菌(4月)
- 夏野菜の栽培(5～7月)
- 冬野菜の栽培(9～11月)
- サツマイモの収穫と焼き芋大会(11月)

2年生

- 里山・鯉川散策(春・夏・秋・冬)
- 竹の子掘り(5月)
- 鯉川ザリガニ捕獲作戦(6月)
- 夏野菜の栽培(5～7月)
- 冬野菜の栽培(9～11月)
- 竹内牧場見学・写生(10月)
- サツマイモの収穫と焼き芋大会(11月)

3年生

- 東海大学藤吉先生特別授業
【里山・鯉川の生物調査や草木染め等】(毎学期)
- 里山・鯉川散策(春・夏・秋・冬)
- 夏野菜の栽培(5～7月)
- 冬野菜の栽培(9～11月)

4年生

- 東海大学藤吉先生特別授業
【里山・鯉川の生物調査や草木染め等】(毎学期)
- 鯉川の生物調査(春・夏・秋)
- 大豆の栽培と味噌づくり(年間)
- タデアイの栽培と藍染め(5～7月)
- へちまの写生(9月)
- 江戸東京野菜「高倉大根」の栽培

5年生

- 鯉川水質調査(年間)
- 稲作・米づくり(年間)
- 稲穂の写生(9月)、味噌開封(12月)
- 里山の環境について考える(2～3月)

6年生

- 各自によるゆたか研究の調査・発表(年間)
- たまねぎの写生(6月)
- 縄文土器の制作・野焼き(7～11月)



菅生のひとこま (12)

《学びの城2階 友永詔三さん作『あるく魚』》

3月に行われた「学びの城の美術展特別企画『友永詔三人形と仲間たち』」展では、NHK人形劇『プリプリ物語』で使われた人形の他にも、友永さんのファンタジックな人形の数々が展示されました。展覧会終了後、そのうちの1つが友永さんによって学園に寄贈されました。タイトルは『あるく魚』。

学園の児童・生徒の豊かな感性の育成に一役かってくれることと思います。



編集後記



東海大学菅生高等学校Facebookより

たくましく成長した児童・生徒を心を込めて送り出した学び舎に、今度は咲き誇る桜の花のもと新しい児童・生徒を迎えました。

新しい体制のもと、峰岸先生のお言葉にあるとおり、建学の精神を大切に、また一歩一歩と前進する新年度にしていきたいと思います。

2025年5月 編集・発行 菅生学園 法人本部
ご意見・ご質問はこちらへ 編集担当：高橋 真実